

## 【総理大臣としてエネルギー政策を考えよう】

東京都北区立豊川小学校・東北大学大学院情報科学研究科 佐藤和紀

### 1. 単元について

#### (1) 学年と単元名(題材名)

- ・ 6年生 総合的な学習の時間 7時間
- ・ 単元名 総理大臣としてエネルギー政策を考えよう

#### (2) ねらい

これまでの環境問題で学習してきたことを活かして、日本の環境問題やエネルギーに関する実態、諸外国のエネルギー政策をふまえて、これからの日本のエネルギー政策の在り方を提案することができる

#### (3) 概要

##### 第1次「日本のエネルギー政策を調べよう」 2時間

理科や社会で学習した環境問題を振り返り、日本の環境問題や電力需要やエネルギー政策について調べ、日本の実態を知る。

##### 第2次「諸外国のエネルギー政策を調べよう」 3時間

それぞれのグループが日本と関係性の深い外国のエネルギー事情や政策について調べて（グループ間のジグソー学習）、ポスターセッションで発表する。

##### 第3次「総理大臣としてエネルギー政策を考えよう」 2時間（本時）

###### ① 個人活動 1（1/2 時間）

8つのエネルギー（火力（石油、石炭）、水力、バイオマス、原子力、風力、太陽光、天然ガス）について1人につき2つのエネルギーのメリットデメリットをXBで整理する。

###### ② グループ（小集団）活動

XBで持ち寄った意見を4人で整理分類する。

###### ③ 個人活動 2

4人で整理分類したものを分配して、政策としてのエネルギー優先準備をピラミッドチャート等の思考ツールを用いて表現する。

###### ④ 議論（小集団→全体）

考えたエネルギー政策について理由を述べながら議論する。

###### ⑤ 個人活動 3（2/2 時間）

議論した内容と現在の状況を踏まえ、現実的なエネルギー政策と未来のエネルギー政策を考える。

## 2. 本時の活動について

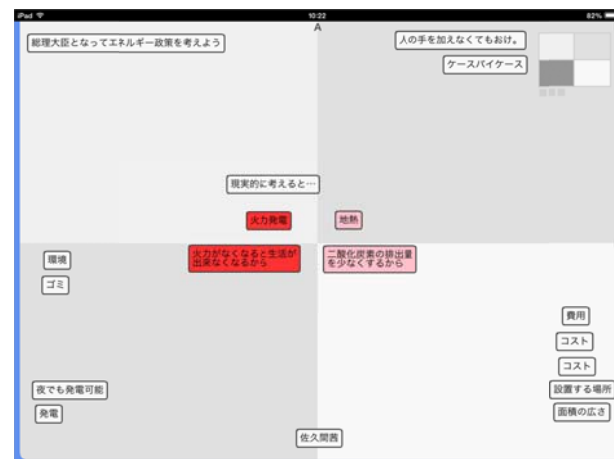
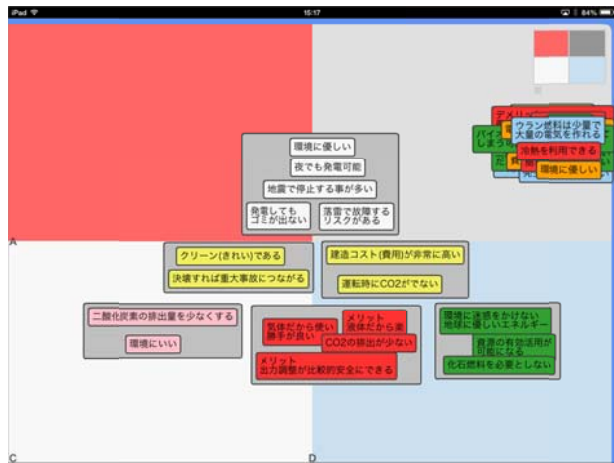
これまで学習してきたことをふまえて、8つのエネルギーのどのように使っていくかについて、意見を出し合った。

次にXBを活用して8つのエネルギー（火力（石油、石炭）、水力、バイオマス、原子力、風力、太陽光、天然ガス）について1人につき2つのエネルギーのメリット・デメリットをXBで整理した。整理した後に、4人でメリット、デメリットに整理分類をした。

整理分類したものを分配して、整理されたメリット、デメリットを参考にして、優先するエネルギーの順番を考えて、XBでまとめた。まとめ方はピラミッドチャートを活用させた。画面にまとめ終わったらグループで議論を行った。

まとめた内容を見ると、自然環境に比較的優しいとされるエネルギーを優先する児童が多く見られたが、もう一度日本のエネルギー需要等を振り返った時に、「自然環境を優先すると日本のほとんどの活動ができなくなる」といった意見が出てきた。

そこで「現実的なエネルギー政策」をもう一度考えることとなり、再度自分たちでまとめたメリット・デメリットを振り返りつつ、XBで政策を考え直した。



## 3. XB 活用のポイント

XBは、エネルギーのメリットとデメリットを整理分類する目的で用いた。エネルギーにはそれぞれの特徴があり、児童は整理分類することで一筋縄には分類できず、メリットやデメリットだけでは政策を決めることができない難しさに気づくことができた。その中でも、友達の出した意見も活用しつつ自分の意見としてまとめて議論することの大切さも理解したことを示す感想もあった。友達の見解も尊重して発表できる点がXBの良さである。